

業績／主要な経営指標等の推移

Jimoto Holdings

経済環境

2024年9月期のわが国経済は、コロナ禍からの回復が進む中、世界的な物価上昇に伴う影響や、好調な企業業績による株高、日本銀行の大規模金融緩和政策の変更など、大きな変化が見られました。

当社グループの営業エリアである宮城県、山形県経済においても、観光需要の回復が進み、雇用・所得環境・消費が改善する一方で、資材高騰の影響が各分野で顕在化してきました。

地域金融を取り巻く環境は、人口減少等を背景とした地域経済の縮小、金利動向の変化、銀行間競争、ITを活用したDXの推進による金融ビジネスの変革などにより、環境変化のスピードがさらに増していくことが予想されます。

じもとホールディングス

業績

このような環境のもと、当社グループでは、経営理念である「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」のもと、「中小企業支援の深化」、「業務変革（DX）」、「経営管理」について、資本業務提携先であるSBIグループとの連携を積極的に活用して取り組んでまいりました。

きらやか銀行は、2009年に資本参加を受けた公的資金200億円（当社C種優先株式、震災特例）について、2024年9月に返済を予定しておりましたが、同行は2024年3月期に多額の赤字決算となったことから、同行の自己資本比率の状況に鑑み、2024年9月に予定していた当該公的資金の返済は困難と判断いたしました。

このため、当社及びきらやか銀行は、国との間で返済期日の見直しを含めた協議を行い、上記公的資金の返済期日を2037年9月に変更することを含めて、経営強化計画を策定し、金融庁より承認をいただきました。

今後、計画を確実に実行することで、黒字回復と復配に取り組むとともに、公的資金返済に向けた剰余金の積上げに取り組んでまいります。

2024年9月期における当社グループの経常収益は、きらやか銀行及び仙台銀行において増収となりましたが、きらやかリースが減収となったことなどから、前中間連結会計期間比1億22百万円減少の191億56百万円となりました。経常費用は、人件費、税金が減少したことなどから、前中間連結会計期間比3億36百万円減少の169億33百万円となりました。その結果、経常利益は、前中間連結会計期間比2億14百万円増加の22億23百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間連結会計期間比1億6百万円減少の14億14百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（連結）

（単位：百万円）

決算年月	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2023年3月期	2024年3月期
連結経常収益	18,817	19,278	19,156	37,435	37,942
連結経常利益（△は連結経常損失）	△1,269	2,008	2,223	△4,297	△22,329
親会社株主に帰属する中間純利益 （△は親会社株主に帰属する中間純損失）	△4,068	1,520	1,414	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失（△）	—	—	—	△7,082	△23,462
連結中間包括利益	△18,984	439	254	—	—
連結包括利益	—	—	—	△22,520	△13,835
連結純資産額	81,570	95,933	83,887	77,730	83,626
連結総資産額	2,693,633	2,671,362	2,557,709	2,659,272	2,680,825
1株当たり純資産額	988.26 円	825.26 円	212.35 円	810.27 円	201.72 円
1株当たり中間純利益（△は1株当たり中間純損失）	△195.80 円	70.91 円	52.89 円	— 円	— 円
1株当たり当期純損失（△）	— 円	— 円	— 円	△342.52 円	△1,023.15 円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	— 円	8.99 円	7.68 円	— 円	— 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	— 円	— 円
自己資本比率	3.01 %	3.58 %	3.27 %	2.91 %	3.11 %
連結自己資本比率（国内基準）	8.09 %	8.93 %	7.69 %	7.67 %	7.62 %
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,949	△16,398	△112,105	△19,967	△13,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,373	2,276	20,057	19,549	129,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△350	17,693	△39	△656	19,642
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	256,272	224,796	264,844	221,224	356,932
従業員数 （外、平均臨時従業員数）	1,561 人 (372 人)	1,470 人 (327 人)	1,430 人 (295 人)	1,504 人 (364 人)	1,418 人 (320 人)

（注）1. 「1株当たり純資産額」の算定上、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を（中間）期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。
また、「1株当たり中間純利益（△は1株当たり（中間）当期純損失）」及び「潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
2. 2022年9月期、2023年3月期及び2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益については、1株当たり（中間）当期純損失が計上されているので、記載していません。
3. 自己資本比率は、（（中間）期末純資産の部合計－（中間）期末非支配株主持分）を（中間）期末資産の部の合計で除して算出しております。